

【人権について】

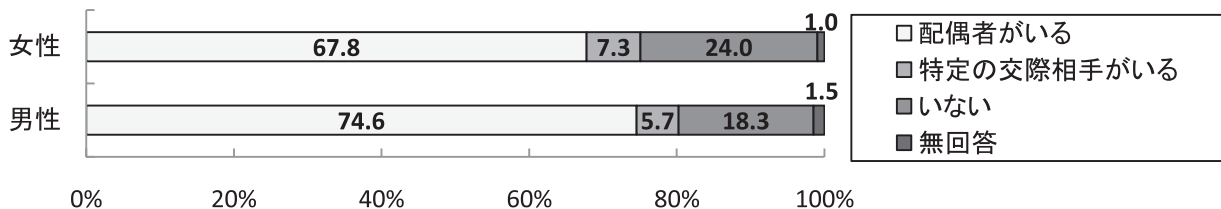
ODV、デートDV、セクシュアル・ハラスメントについて～DV被害を受けたことがある人は9.4%

・DV、デートDV、セクハラそれぞれについて、身近で見聞きしたことがあるか聞いたところ、いずれも4割～5割の人が「身近に被害を受けた人はいない」と回答しているが、DVについては9.4%の女性が、デートDVについては4.1%の女性が、セクハラについては11.6%の女性が「自分が直接被害を受けたことがある」と回答している。前回の調査と比較すると、DVについては13ポイント、セクハラについては2ポイント下回る結果となっている。なお、デートDVについては前回調査では聞いていない。

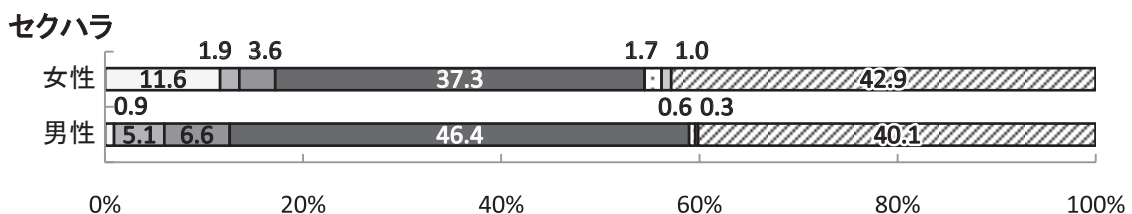
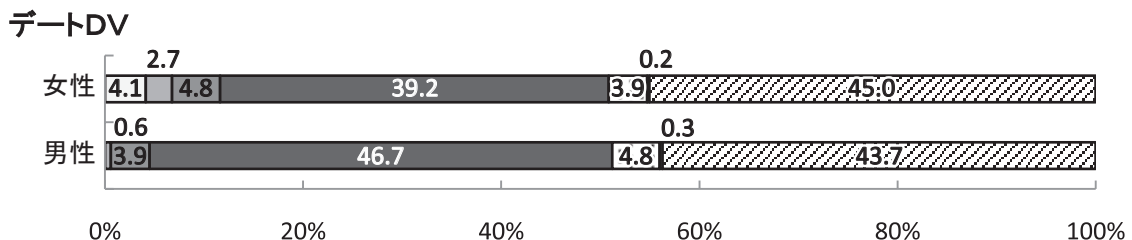
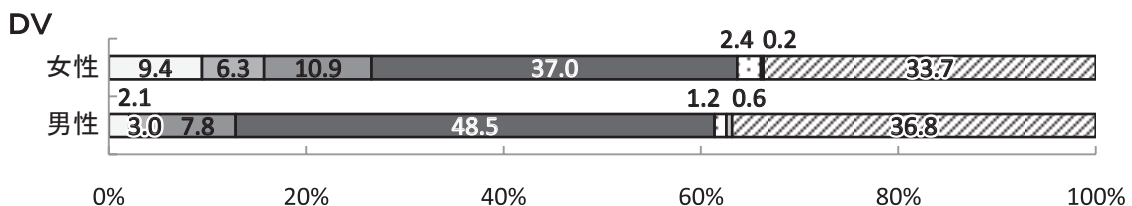
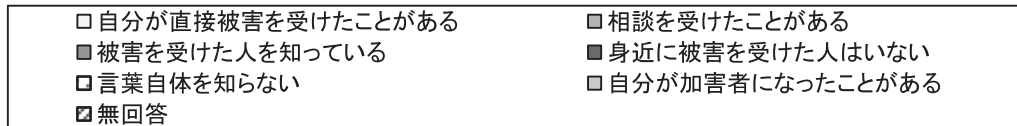
・被害にあったときどこ（誰）に相談するか聞いたところ、全体的にみると「家族」が41.5%、「友人・知人」が37.1%、「公的な相談機関」が31.0%、「警察、弁護士」が26.4%となっている。

・女性に対する暴力をなくすためにはどのようにしたらよいと思うか聞いたところ、「被害女性のための相談機関や保護施設を整備する」が54.4%と最も高く、次いで「捜査や裁判などにおける担当者に女性を増やすなど、被害女性が届けやすい環境をつくる」が54.1%、「法律・制度の制定や見直しを行う」46.4%、「犯罪の取り締まりを強化する」46.3%の順に高い割合であった。

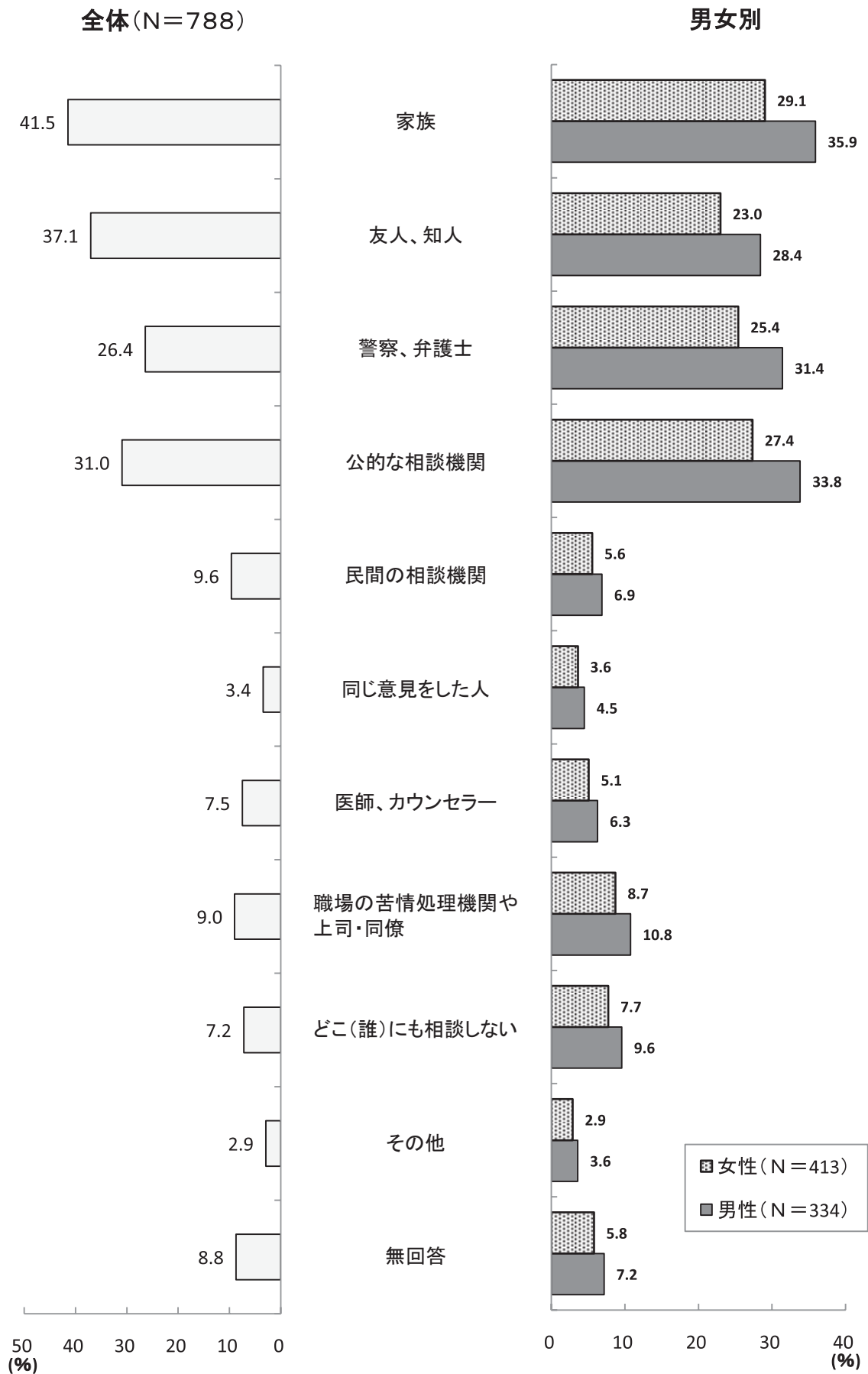
問7 あなたは配偶者・特定の交際相手がありますか。（女性：N＝413、男性：N＝334）



問8 あなたはDV(ドメスティック・バイオレンス、配偶者などからの暴力)、デートDV(若者の間で交際相手からふるわれる暴力)やセクシュアル・ハラスメント(セクハラ、性的嫌がらせ)について身近で見聞きしたことがありますか。



問9 もし、ドメスティック・バイオレンス、デートDV、セクシュアル・ハラスメントの被害にあったときは、どこ(誰)に相談しますか。(複数回答)



問10 あなたは、女性に対する暴力をなくすためには、どのようにしたらよいと思いますか。
(複数回答)

